

平成20年度京都府中学校学力診断テスト結果概要

府内中学生の基礎学力はおおむね定着、活用する力に課題

- 1 実施日 平成20年10月29日（水）
- 2 実施対象 府内全中学校（100校）・特別支援学校（4校）の第2学年
- 3 実施教科及び受験者数 国語（10,032人） 数学（10,037人） 英語（10,038人）
- 4 目的
学習指導要領に示す目標や内容に照らした学習の実現状況を把握するため、「京都府中学校学力診断テスト」を実施し、指導上の課題を明らかにして授業改善を推進し、一人一人の生徒に基礎・基本の確実な定着による学力の充実・向上を図る。
- 5 問題内容等
 - (1) 出題範囲
第1学年及び第2学年1学期までの範囲とする。
 - (2) 問題内容
学習指導要領に示す目標・内容に沿ったものとし、個々の生徒の解答状況から学習課題を診断的に分析できる問題内容とする。
 - (3) 問題類型
基礎・基本的な問題…基礎的・基本的な知識や技能を問う問題
応用・総合・活用的な問題…既習事項を関連付けて解いたり、段階的に思考・判断を重ねたりして解く問題や知識や技能等を実生活の様々な場面に活用する力などを問う問題
- 6 結果の概要
 - (1) 3教科とも基礎的・基本的な内容については、おおむね定着している。
 - (2) 国語では、文章の展開に即して内容をとらえたり、文章の展開を確かめながら主題を考えるなどの力に課題がある。
 - (3) 数学では、事象の中の数量関係を式・言葉で表すなどの知識・技能を活用する力に課題がある。
 - (4) 英語では、与えられた文脈から判断して応答表現を書くなどの力に課題がある。

【国語】 (単位：%)

問題類型	平均正答率
基礎・基本問題	70.1
応用・総合・活用問題	68.1
全 体	69.1

【数学】 (単位：%)

問題類型	平均正答率
基礎・基本問題	72.1
応用・総合・活用問題	39.5
全 体	56.5

【英語】 (単位：%)

問題類型	平均正答率
基礎・基本問題	74.4
応用・総合・活用問題	49.9
全 体	62.7

【国語】 (単位：%)

領 域	平均正答率
話すこと・聞くこと	80.4
書くこと	61.2
読むこと	70.7
言語事項	65.0
全 体	69.1

【数学】 (単位：%)

領 域	平均正答率
数と式	64.0
図形	46.8
数量関係	50.4
全 体	56.5

【英語】 (単位：%)

領 域	平均正答率
聞くこと	75.4
読むこと	68.2
書くこと	45.5
全 体	62.7